物流ソルジャーの現場力 ――私たち(センコー)が「自衛官」を選ぶ理由

”自衛官はみんなウチに来てくれたらいい”生きて出会えることが、感謝で奇跡

上司の仕事もやればいい 自分を小さくするな

大越昇さんのキャリアは、倉庫内のオペレーターから始まった。

「三十数年前の入社当時は、会社もこぢんまりしていたので、昼間は現場で倉庫管理、夜はデスクで請求書の発行と、一人がいろんなことをやらざるを得ない状況でしたから、自然に仕事を覚えてしまいました。そうこうしているうちに、先輩が退職したのをきっかけに事務所で仕事をする時間が多くなり、上司には、『お客さんと遊んでいてください。仕事は僕がやっておきますから』と言ってどんどん仕事をしていました。このとき、上からの指示ではなく、能動的に仕事をしていく楽しさを知ったのです」

たとえば今、「係長の仕事は係長がちゃんとやってほしい」という苦情を聞くと、大越さんはこう答える。「上司の仕事でもやればいい。自分を小さくする必要はない」と。

こうした型にハマらない考え方、バイタリティーに富む人たちが会社を動かしていく。

個人では決してできない 大規模な事業に関われる醍醐味

これまでに何度か、尻込みするようなハードルの高い仕事を与えられることがあった。そういうときこそ、思い切って受けて立つ。結果は満点でなくても、大事なのは大きな仕事をすることによって、自分の足りないところが明確になる点。わかったらそこを足せばいいだけだ。それは確実にキャリアとなり、ステップアップの近道となる。

「センコーは、前向きの失敗には寛大ですよ。それにサラリーマンが責任を取るといったら、大抵は降格か左遷でしょ、たいしたことないですよ。極刑でもクビですから(笑)。それよりも個人では到底できない大きな事業に関われることのほうが断然に魅力的です。何百億というお金を会社から託され投資して利益を生んでいく。なんとありがたいことかと思います。サラリーマンに怖いものはない(笑)と、私は思ってやってきました」

とはいえ、心が折れることもありますよね? との問いには、

「難しい局面に立たされることもありますが、しっかり腹を据えて、今何をすべきかを考えて行動します。余談かもしれませんが、つらいことは現代人だけではなく、昔の人たちも想像を絶する過酷な道を通ってきています。根底に、かつて親父から聞いた、親戚中が巻き込まれた原爆の記憶があるので、つらいことがあっても、今生きていること、仕事ができていること自体、感謝だなと思うと前に進めるのです」

センコーには 多種多様の職が用意されている

センコーは懐も深いが仕事のフィールドも広い。専門分野で職人として生きる、現場で生きる、管理職として生きる、経営者として生きる。いくつもの選択肢、活躍の場所が用意されている。それぞれの持ち味を活かし、適性に合った仕事がきっと見つかるはずだ。

「私としては自衛官、みんなウチに来てほしいという気持ちです。皆さん、真面目な人が多いから、頑張りすぎちゃう傾向がありますよね。もっとリラックスして、肩の力を抜いて、物事を長い時間軸で捉え、豊かに生きることを考えながら、仕事をしていただければと思います。皆さんを待っています!」

清 Clear

東京潮見・本社社屋。
大きな窓から差し込む自然光、
白を基調にした清潔感あふれる打ち合わせスペース

愛 Love

事業所内の保育園は、
働く子育て世代の大きな味方。
従業員の不安や不便を解消し、
働きやすい環境を提供していく

息子を預けて仕事に行く
八鍬(やくわ)智さん
【自】滝ヶ原駐屯地

優 Care

女性社員が多く在籍する
商社で、社員からの声が
上がり実現した「女性専用
のリフレッシュルーム」。
いつでも自由に利用できる
くつろぎの空間だ

安 Give

500円だったランチを300円に。
そんな従業員目線に立った
温かな配慮に利用者はグッと増加

センコーは法令遵守で
しっかり従業員を
守る会社ですので、
安心して来てください。

実父が自衛官だったこともあり、
自衛官に対してひときわ親近感があるという大越氏。
自衛隊で培われた体力、精神力を支柱とし、
一人一人の個性や能力を生かした仕事に就き、
豊かな人生を送ってもらいたい。
そんな親心にも似た思いで皆さんを待っている。

高橋京子・文　市毛康夫・写真

大越 昇 氏
センコー株式会社
取締役常務執行役員
埼玉主管支店長 兼 域内配送ネット構築担当

「協調性を養う場所。社会人になるための第一歩」小野裕太(25歳)厚木センコー運輸㈱/青森駐屯地　第305基地通信中隊
「生きることを学んだ場所」三津山貴則(43歳)三協貨物㈱/海田市駐屯地　第46普通科連隊
「マナーや人との接し方、自分を律することなど、人生における大事な勉強をしたところ」高崎真一(45歳)神奈川センコー運輸㈱/横須賀地方総監部
「同期や上司、先輩、後輩に恵まれ、私にとっては大きい家族のような存在」小俣るみ(33歳)柏センコー運輸㈱/朝霞駐屯地輸送学校　第311輸送中隊